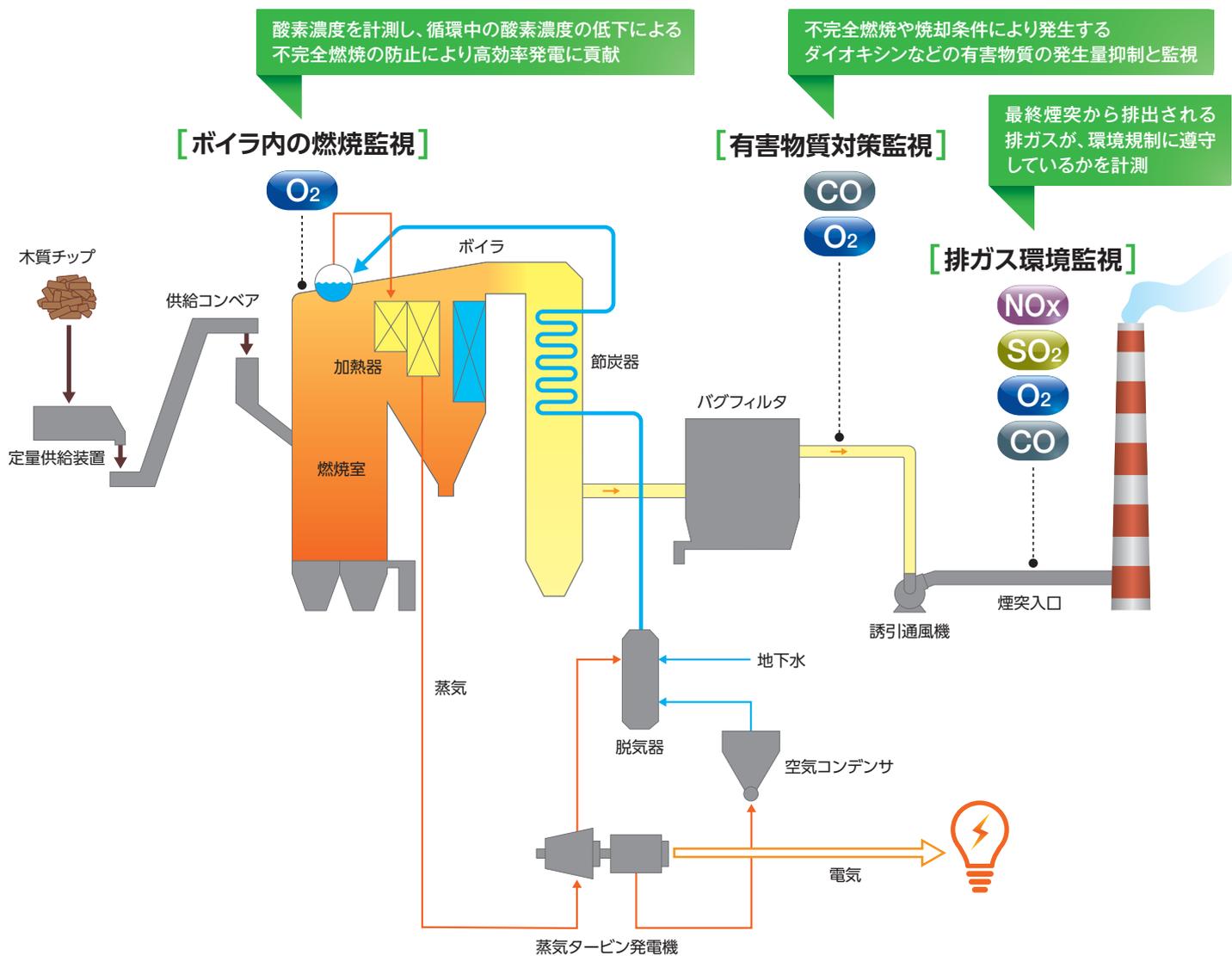




新エネルギー発電プロセスにおける排ガス計測に活用

バイオマス発電は、排出される二酸化炭素の量と吸収される二酸化炭素の量が同じことから、“カーボンニュートラル”とよばれ、二酸化炭素の排出量を削減する新しい発電技術として注目されています。しかし、従来の発電技術と比較すると、発電効率や経済的な面としては課題が指摘されており、ゴミなどの活用や石炭との混焼なども実施されています。



煙道排ガス分析装置 ENDA-5000 Series



- 発電所だけでなく、清掃工場や石油化学工場など、各種工場などからの排ガスに対応
- 1台で最大5成分の同時連続測定が可能 (NOx、SO2、CO、CO2、O2)
- クロスフローモデュレーション方式非分散型赤外線吸収法 (NDIR) を採用し、長期安定性を実現

マルチガス分析計 VA-5000 Series



- 実験、研究用途から排ガス計測まで、多様な場所で使用可能なマルチガス分析計
- 1台で最大4成分連続測定 (CO、CO2、CH4、N2O、NO、SO2、NH3、O2)
- 低濃度・高濃度を問わず、一台で広範囲な測定をカバー。
- 常に最適なレンジが選択できます。高感度検出装置搭載